

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	土地家屋事務費										担当課	部課名	財務部資産税課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	02	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	坂間 英己	電話	2351

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	固定資産(土地・家屋)の適正な課税を行うための調査、資料収集を実施し、固定資産税及び都市計画税を賦課する。						
対象	1. 個人	土地所有者及び家屋所有者			約	210,000	人
根拠法令等	法律等	地方税法, 藤沢市市税条例					
事業実施内容	1. 土地評価に伴う路線価算定及び標準宅地における土地時点修正鑑定業務 2. 税務地図情報システムのデータ更新 3. 家屋現地調査(新增築2,030棟, 減失1,506棟)及び土地現地調査 4. 納税通知書発送(土地・家屋) 184,462件(うち共有者告知45,488件)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 東京ラインプリンタ印刷(株))						
	(委託等内容: 納税通知書印刷業務)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 一般財団法人 資産評価システム研究センター)						
<input type="checkbox"/> その他 ( )							

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 117,273 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		賃金	1,056 千円	パート賃金
		委託料	101,325 千円	システム更新, 納税通知書作成発送業務等委託料
		使用料及び賃借料	13,181 千円	地図情報・評価計算等システム・ソフトウェア賃借料
		負担金補助及び交付金	120 千円	資産評価システム研究センター負担金
		その他	1,591 千円	旅費, 需用費
財源内訳	H30年度 支出済額 117,273 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	13,624 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	103,649 千円	

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	31.50
再任用短時・任期付短時職員	1.00
非常勤職員	0.00
合計	32.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	403,699	492,264	413,638	419,041			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	300,569	492,571	421,302	422,327			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	0	186,623	114,331	117,273			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	300,569	305,948	306,971	305,054			
	職員数(常勤 非常勤)	32.30   0.00	32.50   0.00	32.50   0.00	32.50   0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	285,200	289,341	293,318	290,744			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	15,369	16,607	13,653	14,310			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	103,130	-307	-7,664	-3,286			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	103,130	-307	-7,664	-3,286			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	959.77	420,619	1157.98	425,105	967.57	427,501	976.06	429,317

成果実績	指標名	納税義務者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	203,584	単位 人	205,994	単位 人	208,243	単位 人	210,442	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		納税義務者数は、土地・家屋の所有権移転等の結果によるため、目標を設定できない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,982.96		2,389.70		1,986.32		1,991.24			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	固定資産税・都市計画税の減免をより適切かつ効率的に行うため，添付すべき書類や取扱いの見直しを行う。 都市計画税のあり方と制度の周知。
	(1)解決のための今後の取組 文献や近隣市の状況を確認し，マニュアルの整備を行う。 都市計画税の今後のあり方について研究していくとともに，制度の一層の周知に取り組む。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	固定資産税等の課税客体を的確に把握し，公平・公正な課税を行うことができた。	
	事業の方向性	<b>現状維持</b>
今後の方針	引き続き，固定資産税等の課税客体を的確に把握し，公平・公正な課税に努めていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	固定資産（土地）評価に必要な路線価等の付設及び田・畑等の価格の評定	無	無	3	1
2	土地に関する法務局の異動情報等の収集及び土地課税台帳への反映	有	有	3	
3	固定資産（土地）における各画地の評価額の算出	無	無	3	
4	固定資産評価額の決定及び課税標準額の算出	無	無	3	
5	実地調査対象家屋の把握	無	無	3	
6	実地調査及び家屋評価	無	無	3	2
7	家屋の固定資産税及び都市計画税の価格の決定及び課税台帳への登録	無	無	3	
16	土地家屋所有権移転	無	無	1	
17	土地・家屋 登記名義人住所等変更（法務局からの收受分）	無	有	1	
18	土地・家屋 固定資産税及び都市計画税の減免	無	無	1	
19	土地・家屋 固定資産税及び都市計画税の課税免除及び不均一課税	無	無	1	
20	土地・家屋 賦課データ作成	無	無	3	
21	土地・家屋 固定資産税及び都市計画税納税通知書作成・発送	無	無	3	
22	土地・家屋及び償却資産 納税通知書返戻調査及び公示送達	無	無	1	

23	土地・家屋 各期別更正における固定資産税及び都市計画税納税通知書の作成・発送	無	無	1	
26	戸籍謄本・住民票等の公用請求	無	無	1	
27	法務局への登記事項証明書等の交付・閲覧の請求	無	無	1	
28	官公署等からの税務照会回答	無	無	1	1
29	固定資産課税台帳の縦覧	無	無	1	
34	特別土地保有税に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。  
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	財務部	氏名	松崎 正一郎	確認日	2019/8/14
----	-----	----	--------	-----	-----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	償却資産事務費										担当課	部課名	財務部資産税課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	02	目	02	細目	002	説明	02	課等の長	坂間 英己	電話	2351

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	1月1日現在の固定資産(償却資産)について、申告に基づき価格の決定と税額を算出し、固定資産税を賦課する。				
対象	1. 個人	償却資産所有者	約	10,000	人
根拠法令等	法律等	地方税法, 藤沢市市税条例			
事業実施内容	固定資産(償却資産)を所有している個人及び法人に対して、申告書の発送、受理及び審査を行い、申告に基づいて適正な課税を行った。また、課税客体を正確に把握するため各種調査を行った。 1 申告書の発送 10,979件 2 調査 2,165件(未申告調査1,000件, 簡易調査100件, 税務署調査1,065件)				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 日本電気株式会社 湘南支店) (委託等内容: 償却資産課税システム課題解決改修業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ): <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 22,811 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		賃金	2,543 千円	事業費賃金
		旅費	4 千円	普通旅費
		需用費	1,413 千円	消耗品費, 償却資産申告書等印刷製本費
		委託料	18,851 千円	システム改修業務委託費
財源内訳	H30年度 支出済額 22,811 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他( )		
一般財源	22,811 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	3.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	3.50

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	44,308	38,259	57,732	56,161			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	33,416	37,352	58,611	56,538			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,865	3,592	24,777	22,811			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	30,551	33,760	33,834	33,727			
	職員数(常勤 非常勤)	3.20 0.00	3.50 0.00	3.50 0.00	3.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	28,928	31,854	32,267	32,085			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,623	1,906	1,567	1,642			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	10,892	907	-879	-377			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	10,892	907	-879	-377			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	105.34	420,619	90.00	425,105	135.05	427,501	130.81	429,317

成果実績	指標名	納税義務者数	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	8,793	単位 人	8,991	単位 人	9,316	単位 人	9,559	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		納税義務者数は、事業所の開業、廃止等の結果によるため、目標を設定できない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		5,039.01		4,255.26		6,197.08		5,875.20			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	固定資産税（償却資産）制度の周知啓発を図る。
(2) (1)解決のための今後の取組	申告に伴い賦課決定を行うため，制度を知ってもらい申告頂くことが何より重要になる。認知度を高めるための効果的な周知啓発について研鑽を深める。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	固定資産税等の課税客体を的確に把握し，公平・公正な課税を行うことができた。	
	事業の方向性	<b>現状維持</b>
今後の方針	引き続き，固定資産税等の課税客体を的確に把握し，公平・公正な課税に努めていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
8	償却資産申告書の発送対象となる事業者の把握	無	無	1	
9	償却資産申告書の発送及び收受	有	無	1	
10	償却資産申告書の内容確認	無	無	1	
11	償却資産申告内容の入力及び照合	有	無	1	
12	償却資産申告書に基づく固定資産の評価及び価格の決定	無	無	1	
13	償却資産申告内容に対する調査の実施	無	無	1	
14	償却資産修正申告書の收受と処理及び価格の修正（各期別更生）	無	無	1	
15	固定資産税（償却資産）に関する調の作成	無	無	1	
24	償却資産 固定資産税課税台帳に基づく納税通知書の作成及び確認	無	無	1	
25	償却資産 各期別更生による納税通知書の作成	無	無	1	
30	固定資産概要調書の作成に関すること	無	無		1
31	固定資産税，都市計画税及び国有資産等所在市町村交付金の今年度調定，次年度以降5年間の当初調定見込み	無	無	1	2
32	国有資産等所在市町村交付金の次年度当初調定，次年度以降5年間の当初調定見込みに関すること	無	無	1	2

33	国有資産等所在市町村交付金に関すること	無	無	1
----	---------------------	---	---	---

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	財務部	氏名	松崎 正一郎	確認日	2019/8/14
----	-----	----	--------	-----	-----------